

大田区自立支援協議会 就労支援部会議事録

文責：佐藤（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 就労支援部会（第7回）			
(2) 開催日時	平成29年11月16日（木）15：00～17：15			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 集会室2			
(4) 出席した委員、事務局	部会長：鶴田雅英			
	遠藤文夫	大内伸一	中野真弓	森村明香
	平井有希子	佐々木亜衣	根本真理子	高橋由紀
	小林清一	佐藤正浩	山田達也	富田文子
	区職員			
	事務局 小林善紀 滝本裕弥			
欠席者 関香穂利 都丸利奈子 古怒田幸子 相澤あゆみ 酒井弘美 富永眞也 村田亮				
(5) 内容・要旨	<p>●内容</p> <p>1 各委員・各ネットワークからの情報提供</p> <p>① おおたTSネットより 定例会参加者を中心に大田区保護司会の見学、懇親会を実施した。本日の定例会では初の総会を行なう予定。おおたTSネットが設立2年を前に、さらに形あるものにしていきたい。</p> <p>② 第二回本会（10/27）の報告 各部会の報告資料は区のホームページに掲載されているので参照可能。各部会からの報告予定時間を超過し、議論の時間が取れないことが今後の本会の課題として意見が挙がったため、運営会議で協議することとなった。 その他、本会の報告だけでは、それぞれの部会の活動がわかりづらいという意見や、部会間で共通する地域課題もあるため各部会との連携が必要との意見などが討議された。</p> <p>③ 区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業について 11/7に荏原病院にて「発達障がい」をテーマに研修会が行われた。高次脳機能障がいのある方を支援する支援者を対象に、同じ「高次脳」に起因する障がいとして「発達障がい」について理解を深めた。 また、12/14には高次脳機能障害症例検討会を実施予定。</p> <p>④ 12/2に高次脳機能障がいに関する研修会「支えあうことから始める～私達の高次脳機能障害～」が実施予定。 12/7には大田区の高次脳機能障がい者支援連絡会実施予定。</p>			

1/7 にフォーラム大田高次脳の主催にて「高次脳機能障害と囲碁&心の唄コンサート」が実施予定。

2 事務局からの情報提供

① 11月就労促進担当者会議の報告（11/14）

学習会では「就労支援と高齢化」をテーマに実施。参加機関からの事例報告では、加齢に伴う体力低下等により、職場内での配置転換を行った例を紹介。支援機関やグループホーム、企業と調整して本人が働き続けるための支援を行う必要性について確認した。

また地域福祉課からの依頼として、加齢に伴い一般雇用から福祉的就労に移るにあたり、利用する障害福祉サービスによっては利用開始までの手続きに一定期間時間を要するものもあるため、本人の状況に変化があった際には適宜情報提供いただきたいとの話があった。

さらに、介護保険と障害福祉サービスの適用関係について、65歳以降は基本的には介護保険サービスの利用が優先となる。しかし、福祉的就労が適当と判断されれば障害福祉サービスの利用も可能。このことについても早期に本人を含め地域福祉課や相談支援事業所などと情報交換を行っておく必要があるとの話があった。

② 就労促進懇談会のお知らせ

12/5 に産業プラザ PiO にて「精神障がい者の雇用率算定に向けて～定着支援の工夫～」をテーマに実施予定。

当日は精神障害者を既に雇用している「ほけんの窓口グループ株式会社」「ファイザー株式会社横浜パッケージセンター」「株式会社サザビーリーグ HR」の3社に雇用事例を報告していただき、後半は参加者とのフロアセッションを予定している。

③ 就労定着支援事業の進捗状況について

10/31 に実施された障害サービス等報酬改定検討チームの内容をもとに確認。現時点では月1回以上の面談、月1回以上雇用されている事業所訪問などを行う内容となっている。

また、平成30年度に新設される自立生活援助・訪問方自立訓練（生活訓練）と就労定着支援との併用については、サービス内容が類似していることから認められない方針となる予定。

3 東京都若者社会参加応援事業「Area1」について【根本委員より】

NPO 法人まひろが受託している。「まひろ」は就業支援部門として障害者就業・生活支援センターのアイ・キャリア、相談・コンサルティング部門の Area1、

地域交流部門の NPO 支援事業の 3 つの事業をリンクさせながら運営している。

「Area1」では、人生の一步を踏出せることを基本に、就労も含め将来について考えることができる環境を提供。登録者の年齢は 20 代～50 代と様々で、精神・発達障害の方が多い。生活リズムや居場所、就労準備の目的の方が多いが、在職中の方も利用している。普通校出身で登録時には手帳が無かったが、利用後に診断受け手帳を取得した方もいる。

プログラム内容は、フリースペース、学習支援、個別相談などを行っている。利用の登録には費用がかかるため、登録を選ばない方はサークル活動の「トモカツ」の利用が可能。「トモカツ」登録の費用は不要、単発イベントで誰でも参加が可能となっている。(プログラムによって参加費あり)

Area 1 を利用し、体験実習等を経てアルバイト就労に繋がった事例などの報告があった。

また、他区で行っている他の若者社会参加応援事業の紹介もあった。

4 障がい施策推進プランの素案を受けて

次期障がい施策推進プランの素案を受けて、就労支援部会に関連のある項目に絞り、意見出しを行った。

○パブリックコメント後、一度の施策推進会議では意見の反映は困難ではないかと感じる。

○PDCA で検証するとあるが、進捗状況の評価時期や評価基準が不明確である印象を受ける。

○就労に関する項目については、就労支援部会にて自主的にさらに詳細なプランを策定し、部会独自の評価を行なっていくこともよい。

○対象ライフステージの項目が入ったことは良いことだが、ライフステージの切れ目が無い支援となるよう、それぞれのステージの間に着目した計画内容にする必要がある。

○「発達障がい者支援」の項目については、内容が乳幼児期・学齢期中心となっているため、青年期・成人期以降の支援内容についても盛り込む必要性を感じる。

上記等の意見が挙がり、今後も部会として話し合った内容は地域課題として、解決のために取り組んでいく必要がある。

12/12 からはパブリックコメントの募集も開始する。次回の部会までに各委員が素案を読み込み、意見がある場合は部会長を通じてパブリックコメントとして提出することも可能。

また区民説明会が①12/12 の 18 時から②12/13 の 10 時から、障がい者総合サポートセンター5 階で実施される。

5 その他

○公開セミナーに向けて

2/22 に大田区民ホールアブリコにて実施予定。

テーマは昨年に引き続き「多様な働き方」や「新しいネットワーク」などの視点で検討していく。就労支援部会として、地域の課題となっていることを区民向けに発信することが目的の一つである。

内容の候補として、子ども・若者支援のうち特に「障がい福祉サービスを希望しない、もしくは知らない人で生きづらさを抱えている人」とどのようにして繋がるかや、そういった人を支援している支援者といかにネットワークを構築するかという視点で開催する方向となった。

12 月下旬頃には開催の周知を開始するため、次回の部会までに事務局と作業部会で内容を検討し、講師への依頼を行うこととなった。

6 次回日程

日時 平成 29 年 12 月 18 日（月）15 時 00 分～17 時 00 分

場所 蒲田地域庁舎小会議室 1